

## 7 ワーク・ライフ・バランスの実現や男女共同参画社会づくりを進める上でご意見、ご提案（問17）

### 考え方

- ▶ 少人数でのサービス業では実現は難しい。
- ▶ 職種により一概に言えない部分があるのではないかと。一般的に決めるより各職場に合った考え方をした方が良いのでは！
- ▶ これからは女性の力も大事だとは思いますが、休みが多くなる場合、代理者の補充は必要な時にすぐ見つかるわけではないため、環境は大きな組織が整えてくれないと一企業ではできないことが多いと思う。
- ▶ 現実的には、人材不足や売上げの低迷等の日々事務の問題がたくさんあるので、その次の活動することが難しい。ただ個人的には女性をもっと活躍できる場はどんどん必要だし、女性側もその意識があると良いと思う。女性へも仕事の向上心を持ってもらえれば、昇進、昇級もぜひ実施したい。
- ▶ 台風、大雨等、夜間での対応を考えた場合、女性の職場として考えにくい面があります。今後、時間的、技術的に考えて対応を検討していきます。
- ▶ どれをやろうとしても、企業の負担が増える。賃金面、生産性、いずれもマイナス要因になる。
- ▶ 男女平等を基本とし、個々の能力評価を正しく実施する。能力評価は対象者全員で日常的に実施する。
- ▶ 職場環境を整えていくことや、有給5日というような働き手に優しい職場にしていくことが、パートさんには都合よく、正職者にはなお一層負担が発生する状況になってきている。解決するには、人手を増やすことなのでしょうか？
- ▶ 体のバランス、生活スタイルの中でのワークバランス、とにかく人間にとってバランスをいかにうまく取れるかが大事な事と感じています。雇用する側、される側も。そして行政や支援して下さる団体の取り組みなどをあらゆる場で伝えていただき、よりよい生活を送れるよう市民の方が自身の中に取り入れてほしいですね。
- ▶ 女性が働いて、更に家事もするという考え方を子供の時から「平等に」を教えなければ、いつまでも引きずっていくでしょう。女性も子供の教育をする時「同じにする」平等を教える人にならないと、ますます女性は結婚もしなくなるでしょう。今のお母さんたちこそ頑張っていて、次の世代の子供が大人になった時、「平等」が実行できるようなお母さんであって下さい。また親に期待しても×ですね。ザンネンながら。
- ▶ 仕事が繁忙期に入ると休みを取りづらく、年代でも考え方の違いを感じます。

### 研修会が必要

- ▶ 働き方改革に向け経営者又は担当者が研修を受ける場を設け、ワーク・ライフ・バランスの実施での援助、補助を受けられるようになればいいのではないかと思います。経営者の考えが変わらなければどうにもならないと思う。
- ▶ ワーク・ライフ・バランスは、職場の生産性においてマイナスだと考える方たちもいるため、意識改革や研修が必要と考えます。

### 他企業の取組事例紹介、情報交換の場の提供

- ▶ 他企業の取組や情報交換の場があったら、より良い活動ができるのではないかと。
- ▶ 他の企業の取組事例紹介において、取り組む前と比べてどのように変わったのか、成功事例を教えてください。女性管理職として働いている方の経験談などを紹介してほしい。
- ▶ 他企業の取組の中で、参考にできるものは吸収したいので、事例を挙げてほしい。
- ▶ 他企業との情報交換ができる場や、女性異業種交流会を発足いただくなど推進いただきたい。女性活躍推進を図る上で、女性の意識はもちろんのこと、男性社員、男性管理職の意識改革も同時に進めることが大切です。女性用の研修、男性用の研修と計画いただけるならぜひ当社からも参加を希望させていただきます。

## 支援について

- ▶ 建設業なので、なかなか女性が男性と同等の作業等は難しい所が多々ある現状を考えると、業種別の細かい対応や支援がもっと必要なのではないかと思う。
- ▶ 業種の性質上、女性に関わらず、人手不足になりやすく女性が活躍する場となっていないのが現状。事業所として女性の昇進や昇格を希望しないわけではないので、意欲のある人についてはチャンスがあると考えています。同様に考えている企業(業種)も他にあるかと思しますので、3Kや5Kといった職場に公的なサポート(PRできる場等)していただければありがたいです。
- ▶ 男女共同参画推進に積極的企業への入札優遇策などはナンセンス!そんな事より明らかな市外業者を市の入札から排除して、市内弱小業者へ市の発注する仕事を行き渡らせるようにしてやってほしい!市民税を払ってない者に仕事を取られるのはバカバカしいこと!
- ▶ 幼稚園や保育園に子供を預けるようになり、働く意欲のあるママさん達が求人を見ても、介護職が多く、未経験の人にとっては、見学に来たくらいでは実際が分かりずらく、いざ働いても知識のないままだと、現場も人手不足のため丁寧に教える余裕がなく、早期離職が多くなります。せっかく介護職に興味を持って始めたのにととても残念なことです。そのような方たちに、託児所を用意した介護職員初任者研修を、県、市で取り組んでいただき、介護職の人口を増していただけるとありがたいです。

## 行政に望むこと

- ▶ 行政でなければできないことを実行していただきたい。アンケートの結果を活かして頂きたい。
- ▶ 従業員を確保できないと会社運営は成り立たない。企業努力も実践しつつ、行政としても、市内が活気付くような仕組みを検討いただきたい(観光による人の誘致、地元業者優遇など)。

## アンケート調査に対する意見

- ▶ 当社では年齢の高い男性が多いため、男女共同参画に関するこの調査に当てはまらないことが多く回答ができません。